

i-BOSAI*モデルのエクアドル共和国への展開過程 についての報告

(*Inclusive-BOSAI:インクルーシブ防災)

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

人間開発部 社会保障チーム

白井 恵花



内容

- JICAの紹介
- JICAにおけるインクルーシブ防災の位置づけ
- エクアドルにおけるインクルーシブ防災研修の実施
- 今後の展開

JICAの紹介

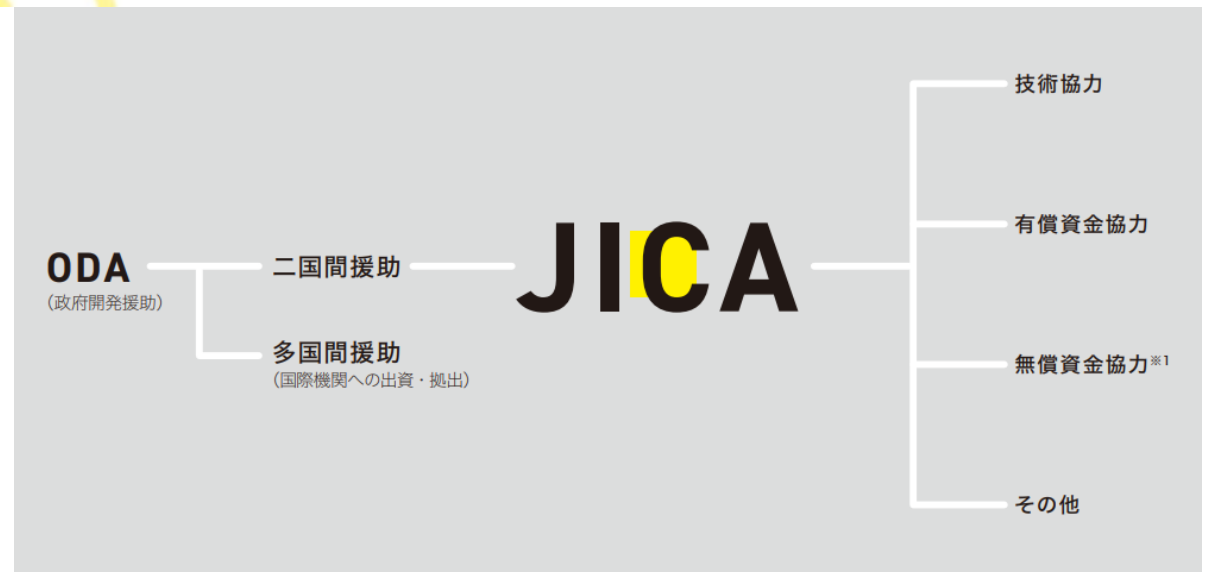
- ✓ 実施機関であるJICAについて知っていただく

ビジョン

信頼で世界をつなぐ

Leading the world with trust

JICAは、人々が明るい未来を信じ多様な可能性を追求できる、自由で平和かつ豊かな世界を希求し、パートナーと手を携えて、信頼で世界をつなぎます。



JICAにおける インクルーシブ防災の位置づけ

■背景

2011年東日本大震災
障害者の死亡率
住民全体の死亡率の**2倍**

仙台防災枠組み
災害弱者を取り残さない
インクルーシブ防災

災害対策基本法
(内閣府)
個別避難計画作成の努力義務

■JICAの協力

✓障害と開発

障害者を取り残さない障害の主流化及び障害者に焦点を当てた開発として障害に特化した取り組みを実施。

✓防災

防災戦略策定・実施能力向上に係る取り組みを実施。

✓i-BOSAI

防災分野の取り組みに、障害者を取り残さない視点を入れて、インクルーシブ防災を実現。

エクアドルにおける インクルーシブ防災研修の実施

✓ インクルーシブ防災に関わる行政官を中心とした関係者のインクルーシブ防災実践能力向上を目指す。

■エクアドルの課題

自然災害	地震、津波、火山噴火などの自然災害へのリスクが高い
連携の不足	中央政府および地方自治体では、障害者福祉の行政部局と防災の行政部局が連携できていない
関与の欠如	避難計画や避難所運営計画の策定に障害者、その家族、地域住民が関与していない
情報の不足	災害リスクの高い地域に住む障害者の特定が十分ではない
制度の不足	地方自治体でインクルーシブ防災を実施するための制度が国レベルで整備されていない

■ 研修概要

地域における障害者に焦点を当てたインクルーシブ防災の実施能力強化

期間 2021年～2023年

対象地域 プエルトキト市、テナ市、パタテ市、サリナス市

対象組織 経済社会参画省(障害分野)
リスクマネジメント局(防災分野)

対象者 中央省庁及び地方自治体の行政官
(オブザーバー参加者: 障害当事者含む
地域住民、NGO等の関係者)



1年目 (2021)

オンライン研修

- ・インクルーシブ防災の基礎を学ぶ
- ・短期アクションプランの作成と実践
- ・講師による現場視察

2年目 (2022)


オンライン研修

- ・防災×福祉の境界連結を学ぶ
- ・長期アクションプランの作成と実践

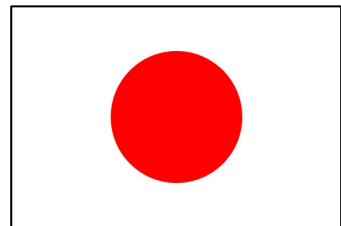
3年目 (2023)

来日研修

- ・インクルーシブ防災の実践方法を学び、意見交換をする
- ・長期アクションプランの実践と改善
- ・エクアドル版インクルーシブ防災が実践されている

A woman with dark hair pulled back, wearing a black blazer and a necklace, is speaking in an office. She is looking slightly to the right of the camera. The office background includes a window with blinds, a whiteboard, and a wall decorated with several small photographs. A desk with a white mug and a blue bag is visible in the lower right.

エクアドルでは、いくつかの社会的不平等が依然残っています。
Ecuador is a country affected by several social inequalities,



I-Bosaiモデル

障害者自身の防災能力を高める
コミュニティの人々のサポートを得る
社会が誰も取り残さない（障害×防災の連携）



今後の展開

- 2023年来日研修を実施

エクアドル及び日本における課題や好事例について共有し、学びあう

- 中南米地域やアジア地域に向けてインクルーシブ防災を展開

